

安心・安全な地域づくりのために 平成19年国東市消防団出初式を実施



▲ラッパ隊の演奏にあわせて、団員と消防車輛による分列行進を行いました



▲人員服装点検



▲野球場での放水点検



▲表彰式の様子



▲ポンプ操作を披露した武蔵方面隊第12分団第1部(手野班・吉広班)の皆さん

平成19年の新春を飾る国東市消防団（池田一彌団長・1060名）の出初式が、1月14日（日）午前9時から国東陸上競技場で行われました。国東市消防団としての初めてとなる出初式には、池田団長をはじめ市内4つの方面隊から433名の消防団員が出動し、終始きびきびとした規律ある動作で各種の点検を受けました。

池田団長の人員報告に続き、照山俊一市長・森正二助役や来賓の皆さんが中隊毎に団員の服装などを点検した後、昨年8月に由布市で開催された「第24回大分県操法大会」に市代表として出場した武蔵方面隊第12分団第1部手野班・吉広班の皆さんによる小型ポンプ操法が披露されました。

続いて、国見方面隊（指揮者・山口英則分団長）・武蔵方面隊（指揮者・厚田孝士分団長）による停止間、国東方面隊（指揮者・栗林正弘分団長）・安岐方面隊（指揮者・橘浩之分団長）による行進間の小隊訓練が披露され、団員の皆さんが日ごろの訓練の成果をいかに発揮し、会場に訪れた皆さんから大きな拍手が送られました。

池田団長を先頭に分列行進をした後、照山市長の講評があり、消防活動に貢献のあった皆さんに対しての表彰がありました。大分県知事代理の宇都宮鉄男県生活環境部審議監、猪俣俊雄市議会議長、三浦公、小野弘利両県議会議員、城井雅伸国東警察署長が祝辞を述べた後、受賞者を代表して旧安岐町消防団副団長の藤川文明さんが謝辞を述べました。

表彰の後、会場を野球場に移して、小型動力ポンプ20台による放水点検が行われ点検のすべてを終了しました。点検会場には、各行政区の区長など大勢の皆さんが見学に訪れ、消防団員の士気旺盛な規律ある動きに終始真剣に見入っていました。